

I プロフェッショナリズム

関連コンピテンシー

1. 医療倫理

医療は個人の尊厳・福利のためのものであることを理解し、歯科医療を行う上で、常に個人の尊厳が冒されるようなことのない方法を選択できる。

2. 研究倫理

基礎医学研究、疫学研究、人を対象とした研究の計画において、倫理的かつ道義的な問題点を指摘することができる。

3. 法と制度に則った歯科医療の提供

歯科医療に係わる法ならびに社会保障制度を理解し、法と制度に則った適正な歯科保健・医療サービスについて概説することができる。

4. 情報リテラシー

医学情報の適切な収集と理解および利用に関し高度な情報リテラシーを有し、患者情報の保護を実践できる。

II コミュニケーション能力

関連コンピテンシー

1. 医療面接

歯科保健医療の提供のため、医学的に必要な情報を患者・家族から得ることができる。

2. インフォームドコンセント

検査を含む全ての診療行為の前に患者からの同意を得る態度が身につけており、必要に応じて書面でのインフォームドコンセントを取得するための説明を行うことができる。

3. コミュニケーションスキル

基本的なコミュニケーションスキルを医療面接において適用できる。

4. プレゼンテーション能力

患者・家族や他職種に歯科専門職からの情報提供を行うための適切な説明またはプレゼンテーションを行うことができる。

5. ICTスキル

ICTを用いた遠隔コミュニケーションを円滑に行うことができる。

Ⅲ チーム医療

関連コンピテンシー

1. 他職種への理解

歯科保健医療に係わる職種を列挙し、チーム医療におけるそれらの役割を説明することができる。

2. コンサルテーション能力

他職種または専門医、上級医の専門性を理解し、コンサルテーションが必要な時機とコンサルテーション相手を判断することができる。

3. 人間関係の構築

チーム医療を行うための良好な人間関係を構築するのに適切な態度をとることができる。

4. 地域包括ケアシステムへの理解

地域包括ケアシステムの制度、構造と実践でのチーム医療の重要性を理解し、歯科医師としてシステム内で機能するための方法を列挙できる。

Ⅳ 包括的・継続的歯科医療

関連コンピテンシー

1. 歯科医学的知識

疾患の病因、病態、治療法などを基礎歯科医学的知識に基づいて説明することができる。

2. 歯科医学的診断能力

診察結果や検査値または画像検査結果から疾病の診断ならびにリスクの把握をすることができる。

3. EBM の実践能力

診療ガイドライン等による最新の根拠を参照し、適切かつ効率的な診療・予防計画策定を立案しようと努め、患者等の価値観を考慮した計画を策定することができる。

4. 包括的・継続的歯科保健医療計画

歯科保健医療の包括性と継続性の重要性を説明でき、患者等の QOL の維持・向上のための予防、リハビリテーションを含めた長期的視点に立った歯科保健医療計画を策定することができる。

5. ライフステージに応じた歯科保健医療の提供

周術期ケア、終末期の食支援等を含めた様々なライフステージに応じた歯科保健医療を提案することができる。

6. 健康教育

保健・医療への患者等の積極的参加の重要性を理解し、適切な行動変容を生じさせるための基本的行動科学理論を概説できる。

7. 患者等への配慮

全ての局面で患者・家族等の苦痛や不安に配慮した診療を行うことができる。

V 地域保健・医療

関連コンピテンシー

1. 健康課題の疫学的把握

集団、地域の健康課題を把握するための統計指標を列挙し、与えられた資料から、集団、地域の健康課題を統計学的に分析することができる。

2. 健康課題への公衆衛生的介入

集団、地域に認められる健康課題に対して公衆衛生的介入方法を提案することができる。

3. 健康課題の変化への対応

地域、時代によって変化する健康課題を把握することができる。

4. 医療連携

医療施設の種類を列挙し、それぞれの役割と連携方法を概説できる。

5. 訪問歯科診療

訪問歯科診療の特殊性を理解し、生活の場における歯科医療の現場に参加できる。

VI 高水準の基本的診療能力の獲得

関連コンピテンシー

1. 基本的治療の習得

高頻度に接する代表的歯科疾患（う蝕、歯周病など）、外傷（打撲、裂傷など）に対する検査、診断、基本的治療ができる。

2. 高度技能習得への準備

高度な知識、技能を要する検査、治療の原理と手順を理解してそれらに対する介助ができる。

3. 医療安全

歯科診療に必要な医療安全管理、感染対策を講じることができる。

VII 歯科医師としての可能性の追究

関連コンピテンシー

1. 国際貢献

国際的な歯科保健・医療・研究活動に参加するための基本的な英会話ができる。また、

国際社会の一員として文化、社会的背景の差違を考慮した国際交流を行うことができる。

2. 研究（リサーチ）マインド

歯科医学に関わる疑問点に対する最新の情報を収集し、その内容を説明することができる。また、自ら研究計画を立案し、その研究を行うために必要な研究環境について説明できる。

3. 生涯学習

生涯にわたる自己研鑽を継続するために自己の問題を発見することができ、問題解決のための方略を策定することができる。